

日本保育協会保育科学研究所 第6回学術集会開催案内

テーマ：これからの保育・幼児教育と子育てを考える

趣 旨：

昨年子ども・子育て支援新制度発足に続き、社会福祉法等の一部を改正する法律案が本年3月国会で可決・成立しました。さらに現在、保育所保育指針および幼稚園教育要領の改訂作業も進行中です。また、人間形成の基礎となる乳幼児のための保育・幼児教育の重要性への認識の高まりなどから、東京大学に「発達保育実践政策学センター」が昨年7月に、国立教育政策研究所に「幼児教育研究センター」が今年4月に設置されました。

このような状況のもと、保育科学研究所の平成27年度研究テーマ「保育所保育と家庭の子育てとの連携・協働」について6題の研究と国庫補助研究2題の発表のほか、講演とシンポジウムでは保育所等と家庭で過ごす時間や内容について多様な角度からの提言と意見交換を行います。

対 象：保育所等の役職員、大学等の教員・研究者、保育・教育行政担当者等

募集人員：100人（先着順）

期 日：平成28年9月2日（金）、3日（土）

主 催：社会福祉法人日本保育協会 保育科学研究所

（日本保育協会は日本学術会議協力学術研究団体、日本学術会議教育関学会連絡協議会加盟団体です）

協 賛：有限会社 日保協

会 場：全国町村議員会館

（東京都千代田区一番町25番地 TEL：03-3264-8185

地下鉄半蔵門線半蔵門駅4番出口徒歩0分、3番・5番出口徒歩2分、

または地下鉄有楽町線麴町駅3番出口徒歩6分）

参加費：日本保育協会会員：5,000円・非会員：6,000円

（当日受付でお支払いください。）

申込問合：4ページの申込書に記入のうえ、下記あてにファックスでお申込みください。

日本保育協会 TEL：03-3222-2114 FAX：03-3222-2117

申込締切：定員に達した場合、当協会HP（www.nippo.or.jp/guide/）でお知らせします。

第1日：平成28年9月2日（金）

13時30分～45分 ・開会の挨拶 大谷 泰夫（日本保育協会理事長） ・日程のご案内（事務局）
13時50分～14時20分 ・所長講演 「新たな時代の保育研究」 潮谷 義子（保育科学研究所長・日本社会事業大学理事長）
14時25分～14時55分 ・講演 「新制度と幼稚園の課題—その根底にあるもの—」 片岡 進（幼稚園情報センター代表）
15時00分～15時30分 ・講演 「保育所の現状と新・保育指針の課題」 西村 重稀（仁愛大学名誉教授、日本保育協会理事）
15時40分～17時 ・研究発表及び質疑 その1（平成27年度研究4題） ①「充実した保育環境を構築するための大切な条件の探究」 堀 昌浩（認定こども園さくら園長） ②「保育所が行う家庭との連携・協働プログラムの実証・研究 —イベントサークル等の調査—」 廣瀬 優子（しせい太陽の子保育園園長） ③「食を通した子育て支援の観点を活かした保育所保育に関する研究 —父親が発信者となる家庭での食育を焦点に—」 酒井 治子（東京家政学院大学教授） ④「保育所と家庭との連携に関する研究」 石川 昭義（仁愛大学教授） <座長：掛札 逸美（NPO 法人保育の安全研究・教育センター代表）>

第2日：平成28年9月3日（土）

9時30分～10時50分 ・研究発表及び質疑 その2（平成27年度研究2題、国庫補助調査研究2題） ⑤「保育ドキュメンテーションを媒介とした保育所保育と 家庭の子育てとの連携・協働に関する研究」 矢野 理絵（くほんじこども園園長） ⑥「保育所で取り組み可能な家庭との連携のあり方に関する研究 —保育所と家庭の食事に対する連携と協働—」 木本 一成（杉の子幼保連携型認定こども園園長）
--

—国庫補助調査研究—

- ①「保育所における障害児やいわゆる『気になる子』等の受け入れ実態、障害児保育等のその支援の内容、居宅訪問型保育の利用実態に関する調査研究」

小林 芳文（和光大学名誉教授、横浜国立大学名誉教授）

- ②「病児保育、夜間保育、ベビーホテル等の利用実態に関する調査研究」

木野 稔（中野こども病院院長）

<座長：荻須 隆雄（元・玉川大学教授）>

11時～12時

- ・シンポジウムの基調講演：

「保育所と家庭とのコミュニケーション—保護者は何を考え、何を求めているか」
普光院 亜紀（保育園を考える親の会代表）

13時15分～15時15分

- ・シンポジウム：「保育・幼児教育研究の最新の動向と親子関係を考える」

乳幼児の発達や幼児教育の重要性についての認識の高まりから、大学や国立研究所が相次いで研究センターを設立し、関係諸領域研究者との連携による協力体制を整備し研究拠点を築きつつあります。このシンポジウムでは保育・幼児教育制度の課題なども含め、保護者と乳幼児との望ましい関係を促進し、支援する環境と研究拠点とのネットワークづくりなどについて考えます。

「早期教育より親子の遊びとふれあいの時間を」

内田 伸子

（コーディネータ、お茶の水女子大学名誉教授、日本学術会議連携会員）

「東京大学発達保育実践政策学センターの取り組み」

村上 祐介（東京大学大学院教育学研究科准教授）

「文科省の検討会議と国立教育政策研究所幼児教育研究センター設立」

坂崎 隆浩（こども園ひがしどおり理事長・園長、日本保育協会理事）

「最近の子育てにみる親子像—NHK E テレの番組などから」

井桁 容子（東京家政大学ナースリールーム主任保育士）

15時30分～16時30分

- ・特別講演：「子どもの保健・医療の課題」

五十嵐 隆（国立成育医療研究センター理事長、日本学術会議連携会員）

16時30分

- ・閉会の挨拶 杉上 春彦（日本保育協会常務理事）

日本保育協会 保育科学研究所
学術集会申込係 行
FAX : 03-3222-2117

日本保育協会保育科学研究所 第6回学術集会 参加申込書

フリガナ	
氏 名	
勤務先名	
会員区分	※いずれかに○印を付けて下さい 会 員（会員施設職員・研究会員） ・ 非 会 員
職 種	※施設長・保育士等を記載して下さい
連絡先住所	※いずれかに○印を付けて下さい 自宅 ・ 勤務先 〒
電話番号	
FAX番号	

※受付後、参加可能な方にはFAXにて受講案内をお送りいたします。

※参加費(会員5,000円・非会員6,000円)は当日受付でお支払い下さい。